

町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 24 年 12 月 4 日（火） 午後 7 時～ 8 時 20 分

場 所：井戸公民館

対 象：井戸地区

参加人員：13 人

Q：下水道の処理場は何年度着工予定で、下水道事業全てが終わるのは何年度か。

A：受益エリアの計画変更をしている関係で、着工までにはあと 1 年かかる。平成 26 年度当初には着工できる予定である。管路工事は処理場の目処が立ってから再開する。三木東地区、井上南部地区、公共下水道全域全ての工事が終わるのには、10 年以上かかるのではないだろうか。

Q：処理場は周辺同意がもらえなくても着工するのか。

A：公共下水道の処理場の建設には周辺同意は要らないが、地元の了解を可能な限り得てから着工すべきものと考えている。また、新川の放流同意についても同じである。

Q：し尿処理券は、古くなったら使えないと聞いたが本当か。

A：そんなことはない。合併処理浄化槽の汲み取りには使えない。

Q：白山の電灯が雷で消えてしまったので役場に電話したら、外灯の担当に伝えると言うので電話をおいた。しかし 10 日しても連絡がなかったので再度同じ課に連絡すると、担当に聞いてくれないとわからないと言われた。対応が悪いのではないか。

A：実際そういう対応だったのであれば、徹底指導させていただきたい。白山の電灯は非常に切れやすいので、担当と協議して雷雨等に耐えられる方法を考えたい。

Q：白山開発は町ではもうしないと聞いているが、まだ手を入れている人を見た。どうしてか。

A：町は白山開発はもうしていない。おそらくその人は「白山を守る会」の人である。白山の土地は全て私有地であるため、町がその人たちを止めることはできない。

Q：今年は登山道の草刈が遅かったのではないか。

A：今年遅れたのは、土地所有者の了解にもらいに行ったり、業者委託をシルバー人材に変更する手続き等で、時間がかかってしまった。

Q：町の正規職員と臨時職員の給料の差が大きいと聞いた。同じ水準の賃金体系にする目標はあるか。

A：そうすることで人件費が嵩むこととなり、他の事業が縮小されても困ると思う。民間と比べても臨時職員の賃金がそれほど低いとは思わない。

Q：百眼百考会議で提案された事業に町予算の 1 %をつけるというのは、大きいのか小さいのか。また、どんな内容が提案されてどんな進捗なのか、何も知らない。

A：提案事業を予算に反映するという制度は他自治体でもなかなかなく、町の予算の 1 %というの

は非常に大きいと思う。また、百眼百考会議の提案事業や進捗状況は、広報で周知している。広報以外に効果的な周知方法も考えないといけない。

Q：アスファルト舗装の道路で傷んでいるところが多いと思うが、工事はどういう基準でやっているのか。

A：危険なところを優先的に、年間3,000万円の予算でやっている。

Q：長尾街道の歩道は水路の上に設置されており、民家等とのすり合わせでアップダウンが多く危険な箇所も多い。改修計画はあるのか。

A：非常に大規模な工事となる上、水利組合の同意を得るのも難しいと思われるので、実質不可能ではないだろうか。

Q：地元で傷んでいる道路がある。町はコンクリートなら支給してくれるが、アスファルトは支給してくれない。一度見に来てほしい。

A：農道ならコンクリートの原材料支給が原則である。アスファルトの道であれば、毎年6月にオーバーレイの要望を受け付けるので、実行委員さんを通じて申し出てほしい。